



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCAs

CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2016年

11月 第72号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2016~2017 年度主題

国際会長 Joan Wilson (カナダ) "Our Future Begins Today." 「私たちの未来は、今日より始まる」
 アジア会長 Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 利根川 恵子 (川越クラブ) 「明日に向かって、今日動こう」
 あずさ部部長 浅羽 俊一郎 (東京山手クラブ) 「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
 クラブ会長 森本俊子 「長野クラブオリジナルの活動を膨らませよう」



今月の仏句

『往生要集』の著者源信は、15歳にして村上天皇の御前でお経を講説し、褒美として、多くの物を与えられました。母を思う源信は、早速、事の始終を手紙にしたため、褒美の品々とともに郷里へ送りました。しばらくしてから荷物が、封も切られないまま突き返されてきました。添えられた母の歌は、
 後の世を 渡す橋とぞ 思いしに 世渡る僧と なるぞ悲しき 福島貴和選

11月 例会案内

日時 2016年11月16日(水)

会場 レストランやま 6:30pm~8:30pm

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 会長あいさつ
4. ビジター・ゲスト紹介
5. 報告 各係から
6. 「栄村の特別例会報告と今後について相談」
7. ワイズディナー
8. 自由トーク (会員各人の近況報告)
9. ニコニコタイム
10. YMCAの歌
11. 閉会点鐘 会長

希望的観測でしょうか

森本俊子

栄村の収穫祭や文化祭は村制60周年としてはじめて一緒に行われました。若い人が大勢集まっていたとても活き活きとした秋晴れの1日でした。きのこ汁、野菜の天ぷらと炊き立てのご飯、つくたての餅などを頬張ったり、役場のホールで開かれているステージを鑑賞したり、くじ引きで4等の大根が当たって大喜びしたり、(7等は洗濯ばさみ)大成功の催しでした。森宮野原駅の駐車場の奥の方にできた「絆」という復興祈念ハウスにはパネル展示だけでなく最新の映像再生技術を駆使した震災への取り組みや村民の体験談の展示が行われていました。

今まで村を訪れると休んでいることが多かった「道の駅」も3つのお店が競い合うように運営していて活気に満ちていました。復興が順調に進んでいるように思いました。

北野天満温泉で開かれた例会で「栄村の今」を話して下さった島田さんや支援員の石坂さんのお話を通してワイズメンズクラブがこれからすべきことは何かと改めて考えています。今までしてきたことが役に立っていると思いたいです。

栄村の収穫祭に見た活気と魅力を今後も見つけていきたいです

クラブ会費の振込をお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。今年度前期会費(7~12月分)がまだの方、18,000円のお振り込みをお願いします。(1年分は36000円です)(会計 倉石美津子)

八十二銀行 昭和通営業部(店番号214)普通預金 口座番号 871118

長野ワイズメンズクラブ会計 倉石美津子

ハッピーバースデー

今月は該当なし



10月データ

在籍会員 12名
 例会出席者 2名 例会出席率16%
 (メイキャップ・メネット含む)
 ゲスト 7名

12月例会のご案内

とき 12月21日(水)
 ところ レストラン やま
 連絡先 会長または書記へ
 tokoton921@gmail.com (森本)
 f69a9n@bma.biglobe.ne.jp (小林)
 (書記)

会長 森本俊子
 副会長 福島貴和
 書記/庶務 小林美彦
 会計 倉石美津子
 監査 塩入 隆
 CS 丁 胤植
 Yサービス 湯田勝彦
 プリテン 小林美彦
 担当主事 露木淳司

10月の例会報告

☆10月30日（日）栄村 北野天満温泉で収穫祭&特別例会

出席者 倉石美津子、森本俊子
神谷幸男、雅子、大野貞次（東京西）
望月勉、喜代子（富士五湖）
志波雅弘（和歌山紀の川）
堀内雅俊（長野クラブ会友）
ゲスト 島田伯昭（物産館またたび店长）



開会点鐘 ワイズソングの後、会長挨拶と経過報告、ゲスト紹介。続いて、参加者全員が自己紹介と栄村との関わりを話してから島田さんのお話を聞きました。

島田さんは村長選にも出馬したという70歳。現在村長からの依頼で、道の駅の物産館「またたび」のほか振興公社や森宮野原駅などの運営に携わっている。中学卒業と同時に村を出て、大学卒業後横浜などで働き37歳の時家族を連れて村に帰り、村の職員として雄川閣の支配人などをしたりした。そのうち単身村を出て県外で働いた。子供のころの思い出として話してくださったのは、実家はコメ作りもしていたが7月になると自家用の米は無くなって、母がほかから調達して来た姿を見ていたそうです。つまり、栄村は田んぼが小さく、水も秋山郷ほど多くはないということかと思いました。さして産業もない1800人の村で120人の村職員を抱えてい



くのは大変なことで、その意味では村長だからとか平だからとか言っていられないのが実情で、資産がなければ村の役はやっていられないのが本音。道の駅に3社が出店しているのも村の直営の「またたび」のほか「かたくり」という村民が個人的に出資して経営する店と業者が経営する土産物店に分かれているからとのこと。

各集落の結束が強く、いわば共和国状態の村なので、何かを決める時にはとても手間取るというのは、数日前に支援員の石坂英作さんに卓話の依頼でうかがった時もそんな話をしておられ、収穫祭当日はすでに県外へ出張の予定を組んであり、この行事に立ち合えなくなったとのことでした。その石坂さんが紹介してくださったのが島田さんで、村の復興のために無休で働いておられるようでした。お話の最後にこの地に古くから伝わる「のよさ節」を歌ってくださいました。なかなかお嫁さんをもらえない村の青年の気持ちや暮らしを歌ったもので、文化祭のステージでも民謡の同好会がこの歌を歌ったり踊ったりしていました。多くの村民がヘルパーの資格を持って助け合って暮らしているというこの村が復興するのはまだまだこれからのようです。一緒に夕食をいただきながらお話を伺うつもりでしたが、お忙しい日だったのでかないませんでした。夕食後は参加者全員で、集まり、水談義や健康談議に花を咲かせました。東京西クラブ、富士五湖クラブの皆さんには遠いところをお越しいただき感謝です。

メネット委員会に出席して

小林晶子

11/4に第3回メネット委員会に出席してきました。今月26日に開催される「東日本区メネットのつどい」の最終打ち合わせと今期のメネットのプロジェクトへの献金振込票について、来年2月の第2回東西交流会でのメネットアワーについて、メネット委員会会則（案）について等話し合いを進めました。「メネットのつどい」はNHKアナウンサーの武内陶子氏の講演が聞けますので各クラブメネットはもちろん、メンの方々の大勢のご参加をお待ちしています。来年2/4.5に東山荘で開催される東西交流会に、メネットも東西交流とバザーを担当することになりました。

寒い時期ではありますが、こちら東西のワイズメンが集う大きな場となるようです。

大勢の皆さんが参加し楽しく交流されるようメネットもお手伝いしつつ、西日本区のメネットと活動の現状や今後の課題などを話し合いたいと考えています。

メネットの新たな活動の仕方を模索している今年度、諸先輩方の経験と実行力と存在感、“委員が寄せれば文殊の智慧”のすばらしさを実感して帰途につきました。

あずさ部会報告

あずさ部20周年記念部会報告

10月22日(土)



東京都千代田区

在日本韓国YMCAアジア青少年センターで開催

式典の後

「アメリカ大統領選挙最終章と日本」

と題して、「女性大統領は誕生するか」という内容で

恵泉女学園大学名誉教授 蓮見博昭氏が講演

蓮見氏は時事通信の記者として戦後まだ日本にドルがなかったころからアメリカにわたりアメリカ社会を見てきた方で、基本的に男尊女卑のアメリカでヒラリー氏が初の女性大統領になるということはなかなか難しいという見方でした。(しかし、今の時点では多分女性大統領が誕生すると思うが、当選したとしてもトランプの政策(ナショナリズム、ポピュリズム、フェミニズムなどの観点で)に、かなり影響されると思う。との見方

でした。日本政府はトランプ氏を研究するのが遅すぎたとも話されました。

結局11月9日時点で結果が出てみると蓮見先生の懸念が当たってしまったこととなります。(森本記)

公演の後会場を移して、懇親会を行い、浅羽部長の提案による元少年少女合唱団により、「もみじ」や「ふるさと」のコーラスやジャンケンで講師の著書をもらうなどの趣向を楽しみました。(写真は講演する蓮見先生とジャンケンに燃える会場)



YMCAだより

山梨YMCAだより

露木淳司

公益法人に認定されて最初となる山梨県からの立入検査が、YMCAにて10月27日に行われました。事業活動や財務の状況、ガバナンス、各種規程の整備状況など、3時間半に渡って細かく検査されましたが、概ね問題なしとされ、これでまたしばらくは公益法人として事業を進めることができます。

現在YMCAでは新規事業として児童福祉法に基づく「放課後等児童デイサービス事業」を立ち上げようとしています。

発達障がい児のための多機能型デイサービスとして、放課後の学童保育と幼児のソーシャルスキルアップトレーニングを行います。

この準備のために今年の春から専門のスタッフを採用し、運営体制を強化していますが、いよいよ本格的にできるところまでこぎつけました。乞うご期待です!

長野クラブの活動のためのファンドとなる、須坂永田農園のリンゴとシードルを販売します。リンゴは他のクラブもファンドとして販売していますので、限定扱います。詳細はチラシにて。

同じく須坂の障害者就労施設もえぎ、レザークラフト(革細工)についても、ファンド担当の小林までお問い合わせください。